

SZM2563

同報無線アナログ送受信装置



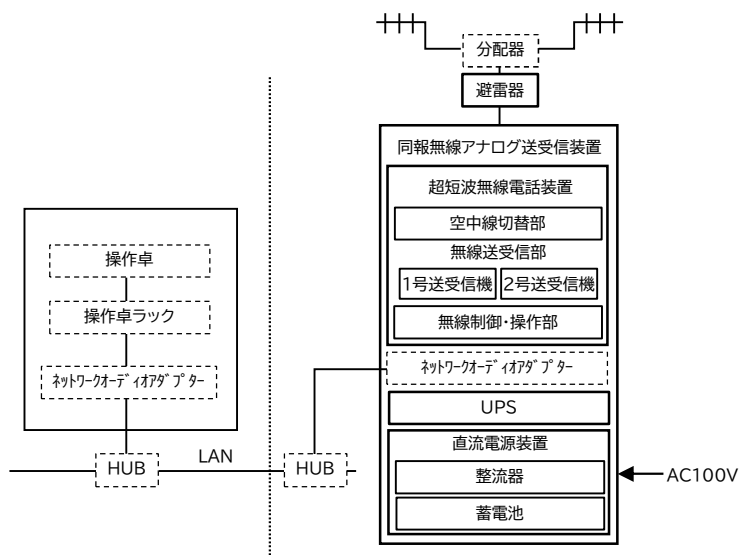
◆主な特長

- 本装置は、60MHz帯1波を使用する超短波(VHF)無線電話装置で、プレストークによる単信方式です。
- 無線装置は現用・予備方式で2台設置し、運用中の無線装置に異常が発生した場合は自動的に予備機へ切り替わります。1号送受信機、2号送受信機での切替運転とし、手動による切替も可能です。待受け側は電源投入状態で待受けとします。
- 送信出力は1~5Wです。
- 制御にDSPマイコンを使用し、発振回路構成にDDS(Direct Digital Synthesizer)を使用した高性能無線機です。
- 通信方式は単信方式です。スピーカマイクのプレスボタンを押して送信、離して受信します。尚、送信中の受信はできません。
- DC-DCコンバータ回路を内蔵していますので、電源電圧変動に対しても安定な性能を発揮します。

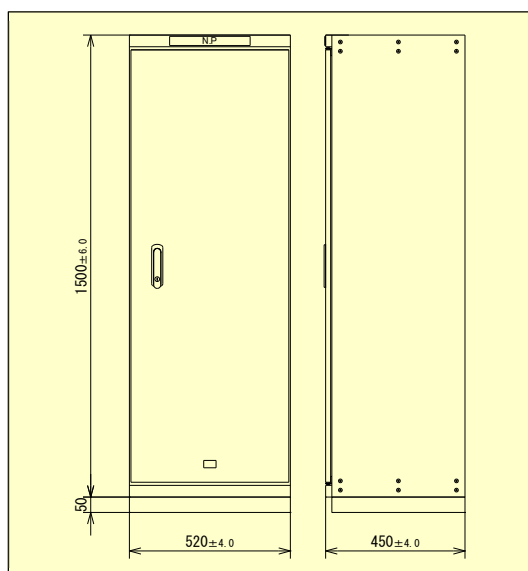
◆主な仕様

項目	仕様	
電源	AC100V / DC12V(バックアップ電源)	
外形寸法(mm)	H1550(チャンネルベース含む) × W520 × D450	
質量	約 95kg	
動作環境条件	温度 -10~50℃ 湿度 90%以下(超短波無線電話装置)	
無線送信部	回路方式	DDS方式
	送信周波数	54MHz~70MHzの内の1波を指定
	電波の型式	F3E、F2D
	周波数安定度	1W以上 ±3PPM以内
	定格出力	1~5W(+20%、-50%以内、APCポリウムで調整可)
	スプリアス発射強度	1W 以上の場合 スプリアス発射:1mW かつ-80dBc以下 不要発射の強度: -60dBc以下
	送信立ち上がり時間	100mS以下(出力90%)
	出力インピーダンス	50Ω 不平衡 BNC型接栓
	変調方式	周波数変調
	占有周波数帯域幅	16KHz以内
無線受信部	受信周波数	54MHz~70MHzの内の1波を指定
	受信方式	シンセサイザ方式ダブルスーパーヘテロダイン
	周波数安定度	±3×10 ⁻⁶
	20dB _{NQ} 感度	3dB _{μV} 以下(0dB=1V)
	S/N比	1KHz70%変調信号入力電圧に対して入力30dB _{μV} にてS/N40dB以上
	帯域幅	通過帯域幅は2dB _{NQ} より6dB低下にて12KHz以上
	隣接チャンネル選択度	±12.5KHzの妨害波に対して60dB以上
	感度抑圧効果	±15KHzの妨害波に対して80dB _μ 以上
	相互変調	±20KHz、±40KHzの妨害波に対して65dB _μ 以上
	スプリアス感度	-70dB以下
空中線切替部	切替時間:3秒以内 切替損失:0.5dB以内 空中線接続:50Ω N-J 接栓	

◆構成図



◆寸法図



SZM2563

同報無線アナログ送受信装置



昭和通信工業株式会社

☎491-0101

愛知県一宮市浅井町尾関字北田35番地

TEL 0586(51)0627

<https://stkinc.jp>

210901V1